

- 1-1 ディベート実践とその前後をどう組み立てるか
ーインプットから整理まで、思考の変容を促す授業ー 久松 大樹（北広島高校）
- 1-2 普段の授業に探究的なエッセンスを！～英語の授業と総合的な探究の時間をつなぐ試み～
高橋 翔（釧路湖陵高校）
- 1-3 "活動"を"学び"に変える授業の仕掛け 高西 貴幸（札幌国際情報高校）
- 1-4 国際交流を推進したい！でもしかしBUT… 柴田 雅裕（札幌南高校）
- 1-5 「生徒が英語を使う」を無理しすぎないように 南 佳織（札幌月寒高校）
- 1-6 A Glimpse into an English Class ～1年理数工学科の英語授業をのぞいてみよう！～
阿部 成道（札幌国際情報高校）
- 1-7 小規模校における、生徒が主体的に動き出す活動の実践
～自己調整学習×ICTの視点で構成する、教科書からパフォーマンステストまで～
木村 建太（高等学校遠隔授業配信センター）

- 2-1 文武不岐～授業を「練習試合」に見立てて～ INPUT／OUTPUTのバランスとその順序
大川 健太（釧路湖陵高校）
- 2-2 英語ディベート導入期における 批判的思考力を育む授業づくり
菅村 朋美（札幌国際情報高校）
- 2-3 デジタル×アナログで創る英語授業
～表現活動を通じて『楽しい+学んだ』と実感する授業デザイン～ 松田 康扶（留萌高校）
- 2-4 柴田、TTやるってよー2026年ver.ー 柴田 雅裕（札幌南高校）
- 2-5 "A"adjust to "I"nspire ～多様な生徒に応える授業づくり～ 土生 紘太郎（富良野高校）
- 2-6 生徒が話し出す仕掛けづくり ～英コミュ・音読からCQAsへ～ 小阪 理恵（遺愛女子中高）
- 2-7 ディベートの前に育てたい力～思考力を育てる英語の授業～ 渋谷 奈緒美（札幌啓成高校）

- 3-1 Teaching WITH Textbooks: 言語活動を軸とする授業実践 木村 圭祐（札幌南高校）
- 3-2 英語ディスカッションの指導と評価 田畑 健太（函館中部高校）
- 3-3 黄金比は2：3：5?! ～解説・個人活動・PW／GWのバランスを考える～
齊藤 瞳（札幌月寒高校）
- 3-4 もし柴田が〇〇校で授業をするならシリーズ②—中規模校編— 柴田 雅裕（札幌南高校）
- 3-5 「なぜ英語で学ぶのか？」から考える英語授業デザイン
ー 思考を深め、英語で伝えるための単元設計と3年間の見通し ー
工藤 よしの（釧路北陽高校）
- 3-6 生成AI×英語教育 ～探究・協働・個別最適な学びをデザインする～ 佐藤 暢紀（鹿追高校）
- 3-7 予測困難な時代の中で、英語教育の核心を問い直す ——高英研セミナーの元講師委員たちと
高西 貴幸（札幌国際情報高校）

Workshop 1

1-1	ディベート実践とその前後をどう組み立てるか ーインプットから整理まで、思考の変容を促す授業ー
講 師 講師略歴	久松 大樹（北広島高校） 札幌清田(講師1年) → 本別(5年) → 北広島(7年目)
講座内容	ディベート実践を中心に、ICT・AIの活用やライティングへの接続について紹介します。インプット、ICTを使ったディベート、AIジャッジ、ライティングへの接続などを一部体験していただきます。 ディベート前のリーディング教材をAIで作成する工夫にも触れ、読解→意見交換→ライティング活動にも活かせるアイディアを共有します。ディベートをこれから取り入れてみたい先生、取り組んでいる先生もぜひご参加ください。夏休み明けの授業で一つでも試せそうな内容を目指します。 ※ 昨年度の高英研セミナー、および授業等研究セミナー(道央・外国語) の内容と重なる部分があります。 #ディベート #ICT活用 #AI活用
諸 連 絡	タブレットまたはノートパソコンをご用意ください。タブレットの場合はキーボードがあったほうが便利です。

1-2	普段の授業に探究的なエッセンスを！ ～英語の授業と総合的な探究の時間をつなぐ試み～
講 師 講師略歴	高橋 翔（釧路湖陵高校） 紋別高校（7年）→釧路湖陵高校（現在6年目）
講座内容	普段の英語授業に、少しでも「探究」の視点を加えてみませんか。本講座では、英語の授業と総合的な探究の時間をどうつなげるかを考え、英語科ならではの「探究的な学び」の可能性を一緒に探ります。 #エージェンシー #概念学習 #探究 #ディスカッション
諸 連 絡	・可能であれば、ご自身の端末をご持参ください。（Free Wi-Fi利用可）

1-3	"活動"を"学び"に変える授業の仕掛け
講師 講師略歴	高西 貴幸（札幌国際情報高校） 横浜市立中学校（2年）→福島商業高校（4年）→函館西高校（9年）→苫小牧東高校（6年）→札幌国際情報高校（現在4年目）
講座内容	Ideas, creativity, and actions will help your students get motivated. これは、私が授業デザインを考える上で長年大切にしてきた言葉です。生徒の学びは、教師のちょっとしたアイデアや工夫によって大きく変わります。しかし、生徒が意欲的に活動していても、それだけで学びが深まるとは限りません。だからこそ私が考え続けてきたのが、「活動をどう学びにつなげるか」ということです。 本ワークショップでは、Small Talk・単元導入・単元を貫く問いの3つを切り口に、「なぜこの活動を行うのか」を体験しながら考えます。また、AIの活用について、ベネッセのGELPの実践事例に加え、本校英語科主任の古起教諭によるWorld Classroomを活用したスピーキング・ライティングの実践やの紹介も予定しています。 明日の授業のためのヒントを、ぜひ一緒に探しましょう。 #SmallTalk #単元導入 #単元を貫く問い #GELP #World Classroom
諸連絡	・スマートフォン・タブレット・PCをご持参ください。（会場Wi-Fi利用可）

1-4	国際交流を推進したい！でもしかしBUT…
講師 講師略歴	柴田 雅裕（札幌南高校） 札幌稲北（3年：期限付）→滝上（5年）→静内（6年）→札幌西（5年）→札幌南（5年目、2学年担任）平成17年度中高英研公開授業者 平成26年度～高英研講師委員 平成28年度～高教研運営委員（平成19・平成25年度研究発表者）平成29年度～文部科学省英語教育推進リーダー 平成22・27年度外国語指導助手指導力向上研修研究発表者 令和8年度教育課程編成・実施の手引作成委員 令和8年度授業実践セミナー研究チーム委員
講座内容	「生徒にネイティブと交流させたい」「生徒に異文化を体験させたい」「短期留学を経験させたい」「うちの学校に留学生を呼びたい」英語教師なら1度は考えますね。柴田も長いキャリアの中、様々な国際交流事業に携わってきました。授業、放課後活動、トピタテ！留学JAPAN、姉妹校交流、短期海外研修、民間の海外研修エージェント、長期留学、海外大学進学など、様々なトピックについて「明日からすぐにできる国際交流」「明日からとは言えなくとも、必ず実現できる国際交流」などを伝授します。この講座は珍しく日本語で進めます。
諸連絡	必要なのはペンだけです！ほとんど英語で行いますが、説明や質疑応答は日本語でも行います。授業や講習、模試、受験、国際交流、何でも気軽に相談してください！

1-5	「生徒が英語を使う」を無理しすぎないように
講 師 講師略歴	南 佳織（札幌月寒高校） 釧路江南高校→静内高校→登別青嶺高校→倶知安高校→札幌月寒高校（3年目）
講座内容	論理・表現ⅠとⅡの授業の中で取り組んでいるスピーキング・ライティングの活動を紹介し、参加者の皆さんにも実際に体験してもらいます。ICT教材を活用することで、教員の負担を減らして生徒の活動量を増やす取り組みを紹介します。
諸 連 絡	ご自身のタブレットもしくはノートパソコン、それと接続できるイヤホンをご持参ください。当日はフリーWi-Fiが使用できます。

1-6	A Glimpse into an English Class ～1年理数工学科の英語授業をのぞいてみよう！～
講 師 講師略歴	阿部 成道（札幌国際情報高校） 奥尻高（4年）→赤平高（7年）→札幌西高（2年）→Canada St. Thomas Aquinas H.S.（2年） →札幌西高（8年）→札幌国際情報高（7年目）
講座内容	現在、CEFR A1レベル（英検3級程度）のクラスで行っている至ってシンプルな授業スタイルをご紹介します。
諸 連 絡	実際に生徒に配布するハンドアウトを使い、模擬授業を行いながら、生徒を惹きつけるポイントなどを話し合います。小中規模校で孤軍奮闘している先生方のお悩み解消の場になれば！

1-7	小規模校における、生徒が主体的に動き出す活動の実践 ～自己調整学習×ICTの視点で構成する、教科書からパフォーマンステストまで～
講 師 講師略歴	木村建太（高等学校遠隔授業配信センター（T-base）） 札幌西（期限付・1年）→稚内（5年）→小樽潮陵（5年）→T-base（2年目）
講座内容	AIや翻訳ツールの発展によって、生徒が「自分自身の言葉」でアウトプットする機会の創出が難しくなっていませんか？そんなモヤモヤに対し、「自己調整×ICT」という切り口からチャレンジした寿都高校での実践をご紹介します。 また、現在、授業でTTを行っている伊藤先生をゲストにお迎えします。私の実践だけでなく、伊藤先生がこれまで取り組んでこられた活動も紹介します！先生方にお持ち帰りいただける具体的なヒントをご提供できれば幸いです。 ゲスト講師：伊藤修汰（寿都高校 4年目） #自己調整学習 #地方小規模校 #ICT #AI #心理的安全性 #レジリエンス #主体性
諸 連 絡	可能な限りご自身の端末をご持参ください。 資料を共有しますので、よろしければClassroom（クラスコード【uobktdq】へご参加ください。）

Workshop 2

2-1	文武不岐～授業を「練習試合」に見立てて～ INPUT／OUTPUTのバランスとその順序
講 師 講師略歴	大 川 健 太（釧路湖陵高校） 奥尻高校（4年）→静内高校（4年）→釧路湖陵高校（現在7年目）
講座内容	野球部監督として部活動指導の中で得た着想を授業に生かしています！「学びたい！」「学ばなければ！」というモチベーションはどこから来るのか。球児達の「練習したい！」「練習しなければ！」からヒントを得て、授業を組み立てています。
諸 連 絡	特になし

2-2	英語ディベート導入期における批判的思考力を育む授業づくり
講 師 講師略歴	菅村 朋美（札幌国際情報高校） 紋別高校→北見柏陽高校→札幌国際情報高校→大学院研修派遣（北教大教職大学院） →札幌国際情報高校
講座内容	英語ディベート初学者に対する反論指導の進め方を体験していただく講座です。反論指導の流れ、帯活動、初学者用にアレンジしたミニ・ディベートの実践を紹介します。 私自身、英語ディベートの経験がない中で指導に携わり、技術指導や生徒の思考力の変容の捉え方に難しさを感じてきました。本講座では、昨年度の大学院研修派遣で研究協力者の先生とともに実践・検証した内容をもとに、英語ディベート導入期の指導のあり方について皆様と一緒に考えます。
諸 連 絡	筆記用具をご持参ください。

2-3	デジタル×アナログで創る英語授業 ～表現活動を通じて『楽しい+学んだ』と実感する授業デザイン～
講 師 講師略歴	松田 康扶（留萌高校） 稚内高校（4年）→留萌高校（5年目）
講座内容	稚内高校・留萌高校で実践してきた活動をご紹介します。AIやICTに頼るべきところ、従来通りアナログで進めるべきところを整理し、進路や学力層が多様な生徒でも「楽しい+学んだ！」と実感できる授業デザインを意識して実践を重ねてきました。 本講座では、①授業デザインの設計方法、②帯活動・単元末に行う言語活動の紹介、③AI・ICTの効果的な使い方、の3点について、実際に皆さんに体験していただきます。また、これら3つのポイントについて、参加者の皆さんならどのように考え、どのような活動を行うか、明日からの授業に活かせるアイデア共有の時間も設ける予定です。 #ICT・AI #個別最適 #表現活動 #働き方改革
諸 連 絡	当日、以下のものをご持参ください。 ① ご自身の端末（Free Wi-Fi利用可） ② 筆記用具

2-4	柴田、TTやるってよー2026年ver.一
講 師 講師略歴	柴田 雅裕（札幌南高校） 札幌稲北（3年：期限付）→滝上（5年）→静内（6年）→札幌西（5年）→札幌南（5年目、2学年担任） 平成17年度中高英研公開授業者 平成26年度～高英研講師委員 平成28年度～高教研運営委員（平成19・平成25年度研究発表者） 平成29年度～文部科学省英語教育推進リーダー 平成22・27年度外国語指導助手指導力向上研修研究発表者 令和8年度教育課程編成・実施の手引作成委員 令和8年度授業実践セミナー研究チーム委員
講座内容	お題にある通り、久しぶりにチーム・ティーチングの極意をお伝えします。私は当時札幌稲北高校で、ほぼ毎日毎時間TTをし（なつかしのOCIの授業ではJTE同士でTTをする凄学校でした）、めちゃくちゃ鍛えられました。「誰にも言えないけど、TTってちょっと怖い」「ALTと授業しなきゃって思うけど、気づけば今年も1回もTTしていない」など、ALTとのTTに不安を抱えていませんか？ 本校ALTのClaire先生とワークショップをやります。他の参加者とのアクティビティを通じ、ALTとのTTに自信を持って帰ってください！ いつも通り、明るく楽しい雰囲気に参加型ワークショップです。若手の先生もベテランの先生も、郡部校の先生も進学校の先生もふるってご参加ください！
諸 連 絡	必要なのはペンだけです！ほとんど英語で行いますが、説明や質疑応答は日本語でも行います。授業や講習、模試、受験、国際交流、何でも気軽に相談してください！

2-5	"A"djust to "I"nspire ～多様な生徒に応える授業づくり～
講 師 講師略歴	土生 紘太郎（富良野高校） 江差（5）→倶知安（8）→富良野（2）
講座内容	●今年は1年担任をしています。富良野では普通科・専科を混ぜて習熟度授業を行うため、2級を持っている生徒から、アルファベットが不安な生徒まで、同じ教科書で授業を進めています。 ●そんな多様なニーズに応えるために、必死に知恵を振り絞り、AIに頼りながら行っている普通の授業とその準備過程を今回はご紹介し、皆さんに共有できたらと思います。 ●学校種やレベルなどの指定は特にありません。興味のある方は気楽にご参加ください。 #AI #授業づくり #どの生徒にもやる気は出させたい #楽しく #持続可能であること #ゴール設定とデザインと #scaffolding #ICT活用
諸 連 絡	AIに関しては、教員側の利用が中心になると思います。PC、タブレット等の端末をご持参いただくと助かります。

2-6	生徒が話し出す仕掛けづくり ～英コミュ・音読からCQAsへ～
講 師 講師略歴	小阪 理恵（遺愛女子中学・高校） 遺愛女子中学校・高等学校〔英語科・普通科一般コース・普通科特進コース〕（現在、21年目）
講座内容	パフォーマンス評価もAI活用も探求も…色々やりたい。でも、その前に土台となる「日々の言語活動」をあらためて探ってみませんか。 「生徒が話し出したいくなる仕掛け」とは？本ワークショップでは、私が日々の授業で実践している発話の土台作りとしての音読や英語による対話を実際に体験していただきます。発話への抵抗感を減らし、自信を育てるための基礎的かつ有効な実践について、ご一緒に考えていきましょう。 中学1年生～高校3年生まで、どのレベル・コースにもアレンジ可能です。
諸 連 絡	特になし

2-7	ディベートの前に育てたい力～思考力を育てる英語の授業～
講 師 講師略歴	渋谷 奈緒美（札幌啓成高校） 阿寒・羽幌・札幌稲北→退職→専門学校・大学・学童（非常勤講師）→平取→札幌東→札幌啓成
講座内容	英語で意見を述べたり、論理的に書く能力を育てたいと思いながら「ディベートまではなかなか…」と感じることはありませんか。本講座では探究学習で用いる「比較」「原因・結果」「具体・抽象」などの視点を授業に取り入れながら思考力と英語力を同時に伸ばす方法を考えてみたいと思います。
諸 連 絡	過去に1年間使って慣れ親しんだ教科書を持参してください（現在の物でも大丈夫です）

Workshop 3

3-1	Teaching WITH Textbooks: 言語活動を軸とする授業実践
講師 講師略歴	木村 圭祐（札幌南高校） 長万部高校（3年）→函館中部高校（5年）→札幌南高校（現在2年目）
講座内容	本講座では、(1) Task-Based Language Teaching (TBLT)にもとづく言語活動を実際に体験し、その後、(2) それを参考にしながら、言語活動を組み込んだ単元の指導計画を検討します。本講座の目的は、(i) 言語形式の指導と言語活動を両立させるための視点を得ること、(ii) 教科書本文を生かした言語活動を設計するためのヒントを得ることの2点です。言語活動の進め方に悩んでいる先生方や、受験指導と言語活動の両立に苦慮している先生方のご参加をお待ちしています。
諸連絡	普段困っていることや工夫していることをお互いに共有しましょう！

3-2	英語ディスカッションの指導と評価
講師 講師略歴	田畑 健太（函館中部高校） 芦別高校（期付1年）→千葉県立君津高校（4年）→奥尻高校（4年）→函館中部高校（現在3年目）
講座内容	□1 目的は英語ディスカッション指導についての授業計画、その指導及び評価方法、授業者の振り返り（失敗体験を含む）を知り、参加者みなさんがそれぞれの教室でそれを実践する上でのヒントを得ることにあります。 □2 進路多様校から進学校での実践を扱います。 □3 ディスカッションの一部を体験します。
諸連絡	資料は当日ご案内するQRコードでご参照いただく予定ですので、それを読み取るための端末を各自ご用意ください。

3-3	黄金比は2 : 3 : 5?! ～解説・個人活動・PW/GWのバランスを考える～
講 師 講師略歴	齊藤 瞳（札幌月寒高校） 名寄光凌高校（7年）→網走南ヶ丘高校（6年）→札幌啓成高校（10年） →札幌月寒高校（現在2年目）
講座内容	①NotebookLMで生徒が優秀な先生に！ ②みんな大好きKahoot!は宿題をちゃんとやらせる仕掛け ③ボタン一つの席替えはドキドキが止まらない ④個人ワークは短時間集中（レベル選択制推奨） ⑤競争大好き、協力大好き、マウント大好き？ ⑥テキストに載っていないことを解説しよう みなさんの実践している「小ネタ」「小ワザ」を共有し、授業で使える引き出しを増やすことを目標にした講座です。みんなで「面白いこと」を持ち寄りましょう。生徒の立場になって①～⑥の体験も是非！
諸 連 絡	①タブレットでGoogle Driveを使用します。（Free Wi-Fi有） ②右のQRより、事前アンケートにご協力ください。 （講座準備に使用します） 

3-4	もし柴田が〇〇校で授業をするならシリーズ②—中規模校編—
講 師 講師略歴	柴田 雅裕（札幌南高校） 札幌稲北（3年：期限付）→滝上（5年）→静内（6年）→札幌西（5年）→札幌南（5年目、2学年担任）平成17年度中高英研公開授業者 平成26年度～高英研講師委員 平成28年度～高教研運営委員（平成19・平成25年度研究発表者）平成29年度～文部科学省英語教育推進リーダー 平成22・27年度外国語指導助手指導力向上研修研究発表者 令和8年度教育課程編成・実施の手引作成委員 令和8年度授業実践セミナー研究チーム委員
講座内容	お題にある通り、3～5間口、大学・専門学校・就職の割合が3 : 3 : 3の中規模校を想定した2年生に英コミュⅡを授業してみます！講師経歴にある通り、静内高校がまさにそんな学校でした！「中規模校で明日から使えるテクニック」を中心にワークショップをやります！次年度は「もし柴田が〇〇校で授業をするならシリーズ③—超進学校編—」をやろうと思っています！ 教科書を丁寧に扱います。各アクティビティごとにコツもお伝えします！いつも通り、楽しくやります！若手もベテランもお待ちしています！
諸 連 絡	必要なのはペンだけです！ほとんど英語で行いますが、説明や質疑応答は日本語でも行います。授業や講習、模試、受験、国際交流、何でも気軽に相談してください！

3-5	「なぜ英語で学ぶのか？」から考える英語授業デザイン — 思考を深め、英語で伝えるための単元設計と3年間の見通し —
講 師 講師略歴	工藤 よしの（釧路北陽高校） 教員歴: 12年目 釧路東高校(6年)→釧路北陽高校(6年) 担当科目: 英語コミュニケーションⅠ/多文化コミュニケーション/ 多文化理解 国際教養教育部長
講座内容	「英語でやること」が目的になっていませんか。日本語で思考を深め、英語で伝える必然性をつくる授業デザインを、3年間の見通しをもとにワーク形式で考えます。
諸 連 絡	普段行っているスピーキングやライティングの活動の一つ思い浮かべてご参加ください。対話やワークを中心に進めます。特別な準備やICTスキルは不要です。

3-6	生成AI×英語教育 ～探究・協働・個別最適な学びをデザインする～
講 師 講師略歴	佐藤 暢紀（鹿追高校） 旭川工業高校（4年）→鹿追高校（現在7年目）
講座内容	生成AIを活用しながら、「探究」「協働」「個別最適な学び」を深める授業づくりについて考えます。 「生成AIは添削に使えるかい?」「探究は調べ学習?」「協働はペア活動?」「個別最適化は課題を分けられかい?」——私自身も以前はそう考えていました。 本講座では、NotebookLMやChatGPT（Gemini等）を活用しながら、教室だからこそ実現できる学びを体験します。授業改善のヒントを共有しながら、これからの英語授業を一緒に考えましょう。校種や学校規模、生成AIの活用経験を問わず、どなたにも参考になる内容にしたいと考えております。 #生成AI #NotebookLM #探究 #協働学習 #個別最適な学び
諸 連 絡	・当日は、インターネット接続可能な端末（PC・タブレット等）をご持参ください。 ・NotebookLMを使用しますので、事前にアクセスできる状態にしておいてください。操作方法を簡単に確認していただけると助かります。 ・ChatGPTまたはGeminiが利用できる環境をご準備ください。

3-7	予測困難な時代の中で、英語教育の核心を問い直す ——高英研セミナーの元講師委員たちと
講師 講師略歴	高西 貴幸（北海道札幌国際情報高校） 横浜市立中学校（2年）→福島商業高校（4年）→函館西高校（9年）→苫小牧東高校（6年）→札幌国際情報高校（現在4年目）
講座内容	予測困難な社会の到来とともに、英語教育を取り巻く環境も大きく変化しています。こうした時代において、私たち英語教師はどのような授業をデザインし、生徒たちにどのような力を育んでいけばよいのでしょうか。 本ワークショップでは、長年にわたり教育現場の第一線で実践を重ねてきた元高英研講師委員3名をパネラーに迎え、それぞれの経験や考えをもとに、これからの英語教育のあり方について語り合います。 変化の激しい時代だからこそ、本当に大切にしたいことは何か。教師にはどのような役割が求められるのか。そして、生徒たちの未来につながる学びとは何か。結論を導く場というよりも、新たな問いや視点と出会う場になると思います。 一方で、3名の実践者が紡ぐ言葉の中には、明日の授業を少し変えるヒントや、自身の実践を見つめ直すきっかけもきっと見つかるはずです。 英語教育の未来を考えたい方も、日々の授業改善のヒントを得たい方も、ぜひ現場の実践者との対話にご参加ください。 パネラー：山田織江（札幌国際情報高校←鹿追高校）、小林康洋（札幌国際情報高校←倶知安高校） 都筑宏海（東川高校←旭川北高校）
諸連絡	「これからの英語教育」についてのご自身のお考えを整理してからご参加いただくと、より充実した時間になります。当日は、「聴衆参加型」で実施するためのWebアプリを使用します。スマートフォン・タブレット・PCをご持参ください。（会場Wi-Fi利用可）